

OIC 大阪いばらきキャンパス(OIC)の魅力

大阪いばらきキャンパスの魅力として、まず、政策科学、総合心理、グローバル教養を含めた「人と社会」にかかわる4学部が学びを展開し、課外活動においても、たくさんのクラブ・サークルで学部・学科の枠を超えて交流できる学びの総合性があります。次に、自宅外生にも健康な食生活を提供する立命館大学発の100円朝食や、約25万冊の図書を備えて共同学習施設(びあら)を設置するOICライブラリーなど、学びのサポート・システムがあります。さらに、キャンパスの境

界には塀が設けられておらず、「いばらき×立命館DAY」や国際交流フェスタ「Asia Week」で地域社会と交流するとともに、国際寮で留学生と国内学生が共同生活するなど、国際・多文化交流を図ることでグローバルな交流ができます。なお、2024年4月に、映像学部と情報理工学部がOICに移転します。リアルとバーチャルを融合するクリエイティブな機能が備わった新しい学び舎も誕生し、従来の学びの枠を超えた知的創造のプロセスを実践できます。



英語ポスターセッション 立命館大学発の100円朝食 「いばらき×立命館DAY」 共同学習施設(びあら)

入試情報は「入試情報サイト」をチェック!!

立命館大学 入試情報サイト
<http://ritsnet.ritsumeiji.jp/>

入試情報・
入試イベントの
詳細を随時
公開しています



- 1 入試最新情報**
立命館大学の入学試験に関する重要なお知らせや最新の情報をお伝えします。
- 2 入試イベント**
大学紹介や入試対策講座など、立命館大学が全国で実施する入試イベントを目的別に探すことができます。
- 3 エリアマガジン**
イベント情報や一般入学試験の会場などをエリアごとにまとめてチェックできます。
- 4 資料請求・願書請求**
大学案内、入試ガイドなどの資料請求ができます。

●立命館大学公式アプリ「立命館大学 入試情報アプリ」▶ App Store、Google Playにて公開中!

ACCESS アクセス



大阪いばらきキャンパスへの交通機関

京都方面から		大阪方面から		空港から	
JR 南草津駅	新快速 約19分	JR 京都駅	新快速 約12分	JR 高槻駅	快速 約5分
阪急 河原町駅	特急 約26分	阪急 茨木市駅	準急 約2分	阪急 南茨木駅	徒歩 約5分
阪急 梅田駅	準急 約18分	阪急 南茨木駅	徒歩 約10分	JR 茨木駅	徒歩 約10分
JR 大阪駅	快速 約11分	JR 茨木駅	徒歩 約5分	モノレール 宇野辺駅	徒歩 約7分
モノレール 大阪空港駅	快速 約21分	モノレール 宇野辺駅	徒歩 約7分		

※所要時間には乗り換え時間を含みません。

経営学部

College of Business Administration | Ritsumeikan University

ビジネスを発見し、
ビジネスを創造する経営学

- Management
- Strategy
- Finance & Accounting
- Marketing
- Global



ビジネスを発見し、 ビジネスを創造する経営学

経営学部は、ビジネスの視点からみた社会的課題を発見し、創造的な問題解決を目指す経営学の研究と教育を進めてきました。とくに今日は、グローバルな視野をもったビジネスの創造や、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組むソーシャルビジネスも重視しています。経営学部は、経営学を主要な専門分野に細分化した4つのコースから進路目標に合わせて専門性を高める「経営学科」と、国際的な視野からビジネスを学ぶ「国際経営学科」を設けています。



経営学部で育成する人物像

商品・サービスの開発から生産、販売のプロセスを理解し、社会組織の中で活躍する人

会計や金融の仕組みを理解し、外国語を駆使するスペシャリストとして活躍する人

地域社会やグローバル社会が抱える課題を発見し、経営学の視点から解決に取り組む人

政治や経済など幅広く社会科学や教養を学び、多様性や異文化を理解して社会に貢献できる人

INTERVIEW



経営学科
土橋 力也 教授

〈研究分野〉プラットフォーム企業の競争戦略

答えを知るのではなく、答えを導く経営学的思考の習得

日本有数の歴史と伝統を誇る立命館大学経営学部には、経営学の各領域で卓越した業績を有する教員が多数在籍しています。こうした指導者のもと、経営学の基礎を学び、ゼミナールや時代に即応した特別教育プログラムを通して学びを深めてきたことで、本学部は社会に資する有為な人材を多く輩出してきました。情報技術の進展によって、新たな技術やサービスをもった企業が次々に誕生し、世界を取り巻く環境は大きく変化しています。このような「変化」に適切に対応し、柔軟な思考をもって行動することの重要性がますます高まっています。経営学では、これまでの経営現象に対する理論的・実証的な知見を多く積み重ねてきました。先人が蓄積したこれらの知見を、友人や良き師と共に学び、実践に繋げることが肝要です。これらを自分の内側の「ロジック」として身につけることができれば、変化の多い社会でも必ず活躍できるようになるでしょう。

PROFILE 立命館大学経営学部を卒業した後、名古屋大学大学院経済学研究科で博士号(経済学)を取得。長崎大学経済学部准教授、愛知学院大学経営学部准教授を経て、現職。専門は経営戦略論、近年では特にプラットフォーム企業の競争戦略について研究している。それらの研究成果を、『組織科学』や『日本経営学会』などの経営学の主要な学術誌で発表している。

徹底した小集団教育。
分野ごとに特色あるゼミナールで仲間と学びあう。

さらに詳しい
内容は、
ホームページを
チェック!



経営学科

組織コース



東 健太郎 教授ゼミ
企業の社会環境報告

社会や環境の問題にかかわり、企業は、どのように説明責任を果たし、またどのようにこの問題を「利用」しているでしょうか。学生時代は、自由な角度から物事をとらえて議論できる貴重な時期です。SDGsなど、サステナビリティが隆盛である現在こそ、問題意識を持ち続ける必要があるでしょう。ゼミの時間は対話を重視しながら、他大学とのインゼミなども実施し、議論を深めています。



戦略コース



依田 祐一 教授ゼミ
ITを駆使して
経営と一緒に学ぶ

テーマは、顧客価値を創造するビジネスモデルの研究です。情報システム等の経営資源に着目して、事業全体を事業の仕組みに着目して、総合的に理解していく面白さがあります。依田ゼミでは、積極参加し、お互いを思いやり、自分の頭で深く考え、ベストを尽くすことが求められます。またゼミは、大学生時代の大切な成長の機会であり、生涯の友人づくりや心の面から自らを磨く場と捉えられます。きっと大学時代のハイライトになることでしょう。



マーケティングコース



今井 まりな 准教授ゼミ
新製品開発に関する
研究と実践

新製品開発は極めて重要であると同時にマネジメントの難しい活動の一つです。顧客自身も明確に認識していない潜在的ニーズの把握は難しく、また、仮にニーズを把握しても、それに十分応える製品の開発へと至るには数多くの関門があります。ゼミは新製品開発についてマーケティングの視点から研究するとともに、インターゼミに参加し、手、足、頭を動かして新製品企画の実践も行います。



会計・ ファイナンスコース



小林 磨美 教授ゼミ
企業統治と企業金融

国内外で経営環境が大きく変化の中で、望ましい企業経営の在り方が模索されています。専門演習では企業統治をテーマにして、企業をめぐるさまざまな利害関係をどのような制度や仕組みをもって調整するのが望ましいかを考えます。企業の内部組織の在り方や金融取引の仕組みなど、さまざまな角度から統治の在り方を議論します。企業統治をめぐる身近な問題や疑問を学習した知識を用いて分析し、その結果を人にわかりやすく論理的に説明する能力を身につけることを本ゼミの目標としています。



国際経営学科

国際経営学科



ラウパッハ
スミヤ ヨーク 教授ゼミ
How business can
save the planet ?

Climate change is endangering our civilization. As a major source of greenhouse gas emissions business is under pressure to adopt zero emission strategies. At the same time, business is expected to develop the required technologies, products and services. In my seminar, we discuss practices of sustainable strategic management to fight climate change.



経営学の理論と実践をバランスよく学べるカリキュラム

1年生から4年生まで経営学の学びを段階的に進めていくとともに、学生が将来の目標を見据えて人間的にも大きく成長していける充実した4年間の学びカリキュラムを設けています。国内・海外で実践的にビジネスを学ぶ機会もあり、理論と実践をバランスよく学ぶことができます。

2年生進級時にコースを選択（経営学科生のみ）

3年生進級時にゼミナールを選択

		1年生	2年生	3年生	4年生	
経営学部 経営学・国際経営学 共同	学部共通専門科目	簿記入門I・II 基礎統計 経営のための数学I・II 情報処理演習 BSAI(留学)	情報処理 英文簿記I 民法I・II BSAI・III・IV(留学)	日本経済論 ミクロ経済学 英文簿記II テクニカル・ビジット	世界経済論 マクロ経済学 組織の経済学 会社法 商法 金融法 税法 労働法 国際取引法 ビジネス・インターンシップ	
	インテンシブプログラム（アジアビジネスプログラム、産学協同アントレプレナーシップ教育プログラム、会計キャリアプログラム、産官学連携事業継承教育プログラム）					
	総合基礎科目 企業と経営 企業と会計 マネジメント論 マーケティング論 経済学入門	経営学科	組織	組織行動論 アジア経済論 企業論	経営史 異文化マネジメント論 近代アジア経済史 International Business	経営組織論 人的資源管理論 国際人的資源管理論 非営利組織論 企業倫理論 環境経営論 企業文化論 International corporate culture 比較経営史 cross-cultural management research 比較企業論 中小企業論 日中ビジネス論 アジア経営論
			戦略	経営戦略論 経営統計論 技術経営論 アントレプレナーシップ論	事業開発論 情報システム論 産業技術論 ベンチャー企業論	企業ネットワーク論 イノベーション戦略論 戦略経営論 国際経営戦略論 Managing Multinational Enterprise オペレーションズ・リサーチ 経営情報論 生産システム論 技術革新論 International Strategic Management ベンチャーファイナンス
		マーケティング	マーケティング・リサーチ 流通論 交通システム論	デザイン経営論	マーケティング・マネジメント 製品開発論 消費者行動論 国際マーケティング論 Strategic Marketing 観光システム論 サービス・マーケティング論 メディア・デザイン論 広告論	
ファイナンス		会計学 金融論	企業分析論 会計制度論 資金調達論	管理会計論 原価計算論 監査論 財務会計論 連結会計論 International Accounting 証券投資論 コーポレートファイナンス 国際金融論		
国際経営学科	国際経営論 異文化マネジメント論 英語経営学入門I・II アジア経済論	Integrated Marketing International Business Corporate Accounting 近代アジア経済史	国際マーケティング論 Strategic Marketing 国際経営戦略論 International Strategic Management 国際人的資源管理論 Managing Multinational Enterprise Cross Cultural Management Research 企業文化論 International Corporate Culture International Accounting 日中ビジネス論 アジア経営論 オペレーションズ・リサーチ 国際金融論			

・学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。

外国語の選択	〈国際経営学科〉英語コース：[必修] 英語 / 2言語英語重視コース、2言語初修重視コース：[必修] 英語 [必修] 下記初修外国語から1言語 〈経営学科〉英語コース：[必修] 英語 / 2言語コース：[必修] 英語 [必修] 下記初修外国語から1言語 【初修外国語】ドイツ語/フランス語/スペイン語/中国語/朝鮮語
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教養科目	立命館科目、A群（教養基盤科目〔思想と人間、現代と文化、芸術と創造、社会・経済と統治、世界の史的構成、自然・科学と人類、数理と情報の7分野〕） B群（国際教養科目〔外国語で講義〕）、C群（社会で学ぶ自己形成科目）、D群（スポーツ・健康科目）、E群（学際総合科目〔演習形式など〕）
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

小集団科目 大学生活において、ともに学ぶ仲間との存在はとても重要です。1年生時から始まる小集団教育科目は、少人数クラスでグループワークやディスカッションなどに取り組みながら主体的に学ぶ力を鍛えけるとともに、支えあい高めあえる仲間づくりの場にもなっています。

<p>1年生</p> <p>基礎演習・プロジェクト研究</p> <p>大学での学び方の基礎を固める。</p> <p>基礎演習では、文献や資料収集・整理、分析、そしてプレゼンテーションするための基本的な知識を修得。プロジェクト研究では、テーマに対する問題提起とその解決に挑む力を育みます。</p>	<p>2年生</p> <p>プレゼミ</p> <p>自ら率先して課題を発見し解決策を考える力を磨く。</p> <p>テーマに対して小集団で学び、3年生以降の専門演習での学びにつながります。</p>	<p>3年生</p> <p>専門演習Ⅰ・Ⅱ</p> <p>経営学の専門知識を活かしより現代的な課題に挑戦。</p> <p>専門演習(ゼミナール)ごとに設けられるテーマに沿って文献研究や現地調査などを実践。基礎演習で身につけた学習方法を土台として、学生同士が議論を重ねるなかで経営学の理論と知識を深めます。</p>	<p>4年生</p> <p>専門演習Ⅲ・Ⅳ</p> <p>卒業論文又はビジネスレポート</p> <p>専門演習での学びをカタチにする。</p> <p>学びの成果を「卒業論文」又は「ビジネスレポート」としてまとめます。大学で習得した知識と経験が凝縮される学びの集大成となるので、学生が自分自身の成長を実感できるものとなります。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>学びのステップ</p> <p>学びを知る</p> <p>大学での学び方を学びます。経営学の基礎的な科目を履修し、基本的な知識や考え方を身につけます。</p>	<p>学びを広げる</p> <p>各学科・コースの基礎的な専門科目を中心に履修。インテンシブプログラムや留学プログラムなども履修可能です。各自の興味・関心のもとさまざまな学びに挑戦します。</p>	<p>学びを深める</p> <p>各学科・コースの発展的な専門科目の履修がスタート。各自の興味・関心のあるテーマを追究し、学びを理論と実践の両面から深めていきます。</p>	<p>学びをまとめる</p> <p>各自の興味・関心に沿ってさらなる専門性を身につけます。また、ゼミナールでの学びのテーマを絞り、4年間の学びの集大成として「卒業論文」又は「ビジネスレポート」を作成します。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



PICK UP 基礎演習(1年生)

大学生生活を自分でマネジメントする基礎を身につける。

高校までとは異なる大学での学び方と研究の基礎を、少人数クラスのグループワークやディスカッションを通して身につけます。興味のあるテーマについて、まずは個人で調べ、次に仲間と情報を共有し、研究に必要な学術的な視点を磨いていくといった「点」から「面」へと研究を形作っていくプロセスを体験します。学びを通じた仲間づくりも重視し、4年間の大学生活を各自がマネジメントできるようサポートします。



経営学科 林 永周 准教授
〈研究分野〉アントレプレナーシップ



PICK UP プロジェクト研究(1年生秋学期～)

アジアの経済発展・ビジネスの課題発見・分析力を鍛える。(Challenges in Asian Economic Growth and Business)

経済発展に付随する課題(ジェンダーや教育、貧困・格差問題等)やアジアへの進出企業を取り上げ、文献やデータを用いて分析します。特に今年は、企業研究としてイオンインドネシア様にご協力いただき、現地の小売ビジネスの最前線情報を共有いただき実践的な学習も行っています。世界各地の多彩な留学生と日本の学生が学年を越えて共同で取り組みます。留学前後の学びとしても位置づけ、授業は全て英語で行い、自らが関心を持った課題に挑戦することを主眼としています。



国際経営学科 宮田 幸子 教授
〈研究分野〉開発経済学



PICK UP 専門演習(3年生～)

社会をより良くする「デザイン」を考える。

私のクラスでは、社会の課題をデザインを通して解決する方法を考えます。例えば「ベン」のデザインを考えるとき、その形や書きやすさなどの機能を考えがちですが、そうした個人の使いやすさの枠を越えて「そのデザインが世の中でどのような意味を持ち、影響をあたえるか」を考えることが重要になります。希望する学生には、実際に企業や地方自治体と連携し、企業が抱える問題解決に取り組む機会も設けています。



経営学科 八重樫 文 教授
〈研究分野〉デザイン・マネジメント論



左から、経営学科 八田 宗士さん 愛知県立西尾東高等学校出身、国際経営学科 桑嶋 梨央奈さん 京都市立紫野高等学校出身、経営学科 海鉾 伶星さん 滋賀県立草津東高等学校出身、経営学科 松木 美依奈さん 立命館慶祥高等学校出身、経営学科 辻 龍輝さん 大阪府立今宮高等学校出身

経営学部自治会オリター団 学生INTERVIEW

学生が学生を支える独自の文化。先輩が新入生の心強い味方になります。

オリター団とは、先輩が後輩を支える立命館大学独自のピア・サポート活動で、私たちは経営学部の新入生を学習と生活の両面から支える活動に取り組んでいます。基礎演習という1年生の少人数授業で学びをサポートする活動や、レクリエーションなどを開いて1年生同士が仲良くなるためのきっかけづくりをする活動など、サポートのあり方はさまざまで、オリター同士で意見交換をしながら常に検討と改善をしています。また、オリターになる学生は自分が1年生の時に支えてもらった経験を次の世代に伝えていて、支え合いの精神が伝統としてつながっています。



オリエンテーション新入生歓迎企画での集合写真

専門性を磨き、ビジネスのスペシャリストへ！ 経営学科



さらに詳しい内容は、
ホームページを
チェック！

ビジネス環境の変化に対応できるよう、確かな経営理論を修得します。
新しいビジネスを創造し、成功へと導くためのビジョン形成や行動力を磨く実践型の学びの機会も豊富です。
また、2回生からは将来の目標に合わせて専門分野を系統的に選べる4つのコースを設けています。

組織コース

企業や非営利組織の形態や歴史、組織の経営管理や仕組みを理解します。リーダーシップや人材育成、中小企業や事業継承、企業倫理や環境経営など多様な学びもこのコースの特徴です。

基礎科目

PICK UP 企業論

「企業とは何か」に
多方面から切り込む。



アドバンストな授業

PICK UP 組織行動論

「多様な個人」から構成される
組織について学ぶ。

企業を理解する際、その組織に注目することが重要です。組織は建物や機械ではなく、様々な性格や意思を持つ多様な個人によって構成されます。そのため企業を理解する際は、所属する個人や複数の個人が織りなす相互作用に注目することが重要です。本講義では組織に所属する個人の態度、集団での活動、リーダーシップなどに関する基本的な理論や概念の理解を通じて組織の理解を深めます。



経営学科
谷川 智彦 准教授

〈研究分野〉
職場における
ダイバーシティと成果との
関係性に関する実証研究

PICK UP 経営史

現代企業の成り立ちを
プロセスから考える。

経営史ではプロセス(過程)を重視し、歴史の流れのなかで、現代企業の多角化や垂直統合といった特質を学んでいきます。長期間を対象にするため、すぐに答えが知りたい学生にとっては少しじれたいと感じるかもしれませんが、過去に起きたことに影響を受けながら現代が成立している以上、ファクト(事実)の積み重ねからの学びは現代企業への理解をより深めるものになるでしょう。



経営学科
植田 展大 准教授

〈研究分野〉
経営史、経済史、
農業・漁業による
地域活性化

戦略コース

企業が目標を達成するための経営戦略と、そのための手段や方法を理解します。製品の開発・生産にかかわる技術経営や、事業創造にかかわるアントレプレナーシップ、情報システムや経営統計についての学びもこのコースの特徴です。

基礎科目

PICK UP 経営戦略論

企業の必携アイテムである
「地図」としての経営戦略を学ぶ。



アドバンストな授業

PICK UP アントレプレナーシップ論

新しい価値を創造し、
社会に創出するための能力を学ぶ。

アントレプレナーシップを、起業家精神と解釈される研究者やマスメディア関係者が多く中で、アメリカの大学での研究成果「新しい価値を創造し、社会に創出するための能力」に基づいて、単にベンチャー企業の創業を目指すだけでなく、既存の企業においても力を発揮できる知識と能力を学んでいきます。



経営学科
黒木 正樹 教授

〈研究分野〉
起業家(アントレプレナーシップ)
教育、
ベンチャー企業の人材育成

PICK UP オペレーションズ・リサーチ

数理的思考による
意思決定プロセスを身につける。

ビジネスの世界では様々な意思決定が行われます。人は無意識的にも、複雑な問題を単純化させて考えた上で決断を下そうとしますが、このような問題解決のプロセスに関する数理的アプローチについて学ぶのがこの授業の特徴です。データ分析の結果にもとづく適切な意思決定が求められる昨今のビジネス環境において、この授業で学ぶような数理的思考の必要性は高まっています。



経営学科
佐野 宏樹 准教授

〈研究分野〉
オペレーションズ・
マネジメント、
サービス・マネジメント

マーケティングコース

企業経営において顧客ニーズを正しくつかみ、価値ある商品を創造するための「マーケティング」を体系的に学びます。また、最近注目される「観光・サービス」「デザイン・マネジメント」を学ぶことができるのも、このコースの大きな特徴です。

基礎科目

PICK UP マーケティング・リサーチ

マーケティング課題を
解決するための情報の収集と
分析技法を学ぶ。



アドバンストな授業

PICK UP 消費者行動論

マーケティングの成功の鍵となる
消費者の心理と行動を理解する。

「どうしてこの商品を買ったのだろうか?」、「なぜこのブランドが好きなのだろうか?」—消費者の心理や行動に関する素朴な疑問にさえ、きちんと答えるのは難しいかもしれませんが、でも、消費者の気持ちや振る舞いが分からなければ、企業は、消費者に自社の商品やサービスを買ってもらうことはできません。消費者行動論を学べば、そうした疑問に対する解答を見出すことができ、マーケティングに役立つ知識を得ることができます。



経営学科
菊盛 真衣 准教授

〈研究分野〉
消費行動に対する
eクチコミの影響、
クチコミ・キャンペーンの
報酬の効果

PICK UP デザイン経営論

一人一人の主観が活きる
経営のあり方を考える。

デザイン経営論は、デザイン経営を個人の主観のマネジメントと定義し、一人一人の主観をイノベーションに結びつけるための開発プロセスやそのプロセスの中での組織内でのコミュニケーションとユーザーとのコミュニケーションなど、デザインを組織内で実践するために必要な哲学的知識から実践的知識まで取り扱います。創造性を発揮する鍵である個人の主観のマネジメントを共に学びましょう。



経営学科
後藤 智 准教授

〈研究分野〉
デザインマネジメント、
サイバーフィジカルシステム

会計・ファイナンスコース

企業を取り巻く資金の流れとその仕組みを理解します。利害関係をもつ企業外部との取引や企業内部の管理運営、さらには金融市場と金融制度についての理解を深めます。企業に関するビッグデータの分析や経済学に基づいたモデル分析を用いた学びもこのコースの特徴です。

基礎科目

PICK UP 会計学

会計情報を使って
企業の中を見る。



アドバンストな授業

PICK UP 原価計算論

原価の発生メカニズムを
理解することで、企業経営を考える。

原価は、企業の利益計算や将来計画の策定に不可欠な情報です。情報技術が発展した現代では、短時間で複雑かつ高度な計算をすることが可能になってきました。原価計算も全くの例外ではありません。しかし、計算された原価が歪んでいたり、原価発生メカニズムを正しく理解していなければ、企業経営を誤った方向へ導いてしまう恐れがあります。この授業では、原価の計算プロセスと原価計算の実践的な役立ちを学んでいきます。



経営学科
大浦 啓輔 教授

〈研究分野〉
組織間マネジメントに
おける管理会計の研究

PICK UP 資金調達論

企業経営を
「資金調達」という側面から学ぶ。

企業経営にとって、資金をどのような形で調達するのかということは極めて重要です。というのも、資金調達には原材料の購入と同じように費用(コスト)が掛かるからです。このコストは資本コストとよばれています。授業では、受講している学生が、将来的に経営上の意思決定(マネジメント)を担う立場になるという想定のもと、資本コストが企業経営にとっていかに重要であるのかということを知ります。



経営学科
三谷 英貴 教授

〈研究分野〉
資本市場とコーポレート・
ファイナンスとの間に
存在する動態関係の
実証的解明

留学を経験し、国際ビジネスの現場に触れ、英語で国際経営を学ぶ

国際経営学科

グローバルビジネスを理解するために高度な外国語運用能力と国際理解力、経営学の専門知識を修得。グローバル化がますます進展するこれからの社会において、国際ビジネスを自ら生み出す力を磨きます。海外留学や海外インターンシップなどの機会も豊富です。

さらに詳しい内容は、
ホームページを
チェック！



1回生では「英語の4技能」と「国際教養」、2回生では「アカデミック英語」および専門分野の「ビジネス英語」を学びます。3回生では「プロジェクト英語」でポスター発表やプレゼンテーションを行い、英語発信能力を高めます。

※希望者は英語に加えてドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語を学ぶこともできます。



「英語で国際的な経営を学ぶ」というコンセプトで、広い視野と多様なものの見方を養います。特定の領域に限定せずに国際的な経営の理解に必要な知識とスキルが取得できる幅広い教育内容を提供します。



経営学部独自のプログラムや全学対象の留学プログラムに参加することで、グローバルビジネスで活躍できる異文化理解力や高度な外国語コミュニケーション能力、および国際経営の専門知識を修得し、国境を越えてビジネスを創造する力を磨きます。

PICK UP Integrated Marketing

Integrated Marketing

In this course, we will learn more about Marketing in English from select marketing strategies used by various global companies. This course covers how companies examine customer values, design their products, market through multiple channels, and how they communicate with customers. We also will take a look at digital marketing in online shopping applications. Based on the foundational principles of marketing we learned in the first year, this course aims to develop our marketing mix knowledge and offer more practical strategies to utilize your future career. Additionally, while enjoying learning this course, you will also practice your English skills. All lessons and workshops will be done in English. Our teaching assistants will support you if you have trouble with your understanding.



国際経営学科
苗 苗 准教授

〈研究分野〉
Habitual behavior in mobile shopping, cultural values, and brand equity of fashion companies

PICK UP 国際経営学科の英語教育

国際経営学科では、世界で活躍できる英語コミュニケーション能力を持つ人材育成を目標に掲げています。

- 2回生以降、履修条件を満たした学生に提供される選択英語では、英語力をさらに高めるために、アカデミックリーディング&ライティング、ディスカッション&ディベート、ニュース英語、異文化コミュニケーション、映画を通して楽しく学ぶメディア英語も履修できます。
- 留学や就職の目標達成のために、全員がTOEFL® IPTやTOEIC® L&R テストを受けます。英語資格試験受験により動機づけを高めて、4年間で英語力を大幅に伸ばします。さらに、最上位クラスのTOEIC® S&W(スピーキング&ライティング)テスト結果は、企業「海外部門」平均点を上回っており、海外で活躍するに足る高度な英語コミュニケーション能力を培っています。



英語クラス合同・ゲストスピーカー講演

知識と経験を実践的に磨く インテンシブプログラム

高度な専門性を備え、グローバルに活躍できる人材を育成する特別教育プログラムです。各学科・各コースの学びにプラスαの専門性とスキルで将来の活躍の可能性が広がります。



さらに詳しい内容は、
ホームページを
チェック！

中小企業経営者を目指す！ / 産官学連携事業継承教育プログラム

大阪府中小企業家同友会と連携した講義と事業継承塾と連動した科目によるユニークなプログラム

本プログラムは、将来、家業を継承し発展を展望する事業継承予定の学生や、中小企業の事業継承・M&Aに関心ある学生を対象に、日本のみならずアジア・世界経済を支える経営者、あるいはそうした企業経営をサポートする諸機関(地域金融機関、地域産業政策を立案する自治体、中小企業支援機関など)で活躍できる人材の育成を目的としています。立命館大学経営学部が「事業継承者育成」を共同で行う協定を結んでいる大阪府中小企業家同友会の会員企業経営者による講義科目や、「立命館大学事業継承塾」が実施している中小企業経営課題解決コンテスト、社史コンテストなどの活動と連動した科目を履修することで、産官学連携事業継承教育プログラムの履修認定を行っています。

時期	科目
2回生 春学期	プログラム特殊講義「事業継承経営：大阪府中小企業家同友会寄附講座」 プログラム特殊講義「事業継承概論」
2回生 秋学期	プロジェクト研究(産学共創型)
3回生 以上	人的資源管理論、中小企業論、 生産システム論

立命館大学 事業継承塾

中小企業経営課題
解決コンテスト
自分史コンテスト
社史コンテスト

海外留学を集大成としたプログラム！ / アジアビジネスプログラム

アジアのビジネスに精通し 新しいビジネスを創造できる人材を育成

著しい経済発展を続けるアジアのビジネスについて学びます。立命館大学での講義に加え、BSAや全学留学プログラムなどを活用してアジアで経営学を学ぶ経験を重ねていくことも可能です。短期、長期の留学や海外企業訪問の機会も豊富。アジアビジネスの最前線に飛び込んで活躍できる力を育みます。

学内での学びと海外での学びのステップ

	立命館大学での学び (講義科目・小集団科目)	海外での学び (海外留学)
1回生	夏期休暇	BSA I 全学留学プログラム (異文化理解セミナー)
	秋学期	
2回生	春学期	BSA II・IV
	秋学期	
3回生	夏期休暇	テクニカル・ビジット (アジア企業訪問)
	秋学期	
4回生	春学期	全学留学プログラム
	秋学期	
3回生	夏期休暇	
	秋学期	
4回生	春学期・秋学期	専門演習Ⅲ・Ⅳ・卒業論文

日商簿記1級・英文会計を学ぶ！ / 会計キャリアプログラム

会計のプロフェッショナルを目指す系統的学習プログラム

公認会計士や税理士、米国公認会計士(USCPA)などの会計プロフェッショナルを志望する学生、または、コンサルタント会社や大企業の経理・財務部門、IR(金融機関・投資家対象の広報活動)部門に就職し、将来的にCFO(最高財務責任者)へのキャリアパスを目指す学生のためのプログラムです。1回生時間講「簿記入門Ⅰ」「簿記入門Ⅱ」を履修済みまたは日商簿記2級レベルの知識を有する学生が対象です。

学びのステップ(例：日商簿記1級プログラム)

ステップ	履修時期	科目	内容
ステップ1 1回生	4~7月	簿記入門Ⅰ	日商簿記検定3級レベル
	9~1月	簿記入門Ⅱ	日商簿記検定2級レベル
ステップ2 2回生	4~5月	会計キャリアⅠ	日商簿記検定 1級レベル
	6~7月	会計キャリアⅡ	
	8~9月(夏季集中)	会計キャリアⅢ	(工業簿記・原価計算) 商業簿記・会計学
	10~11月	会計キャリアⅣ	

11月中旬 日商簿記1級受験！

日商簿記1級を短期集中で取得するプログラム(日商簿記2級の知識があればステップ1を飛ばして1回生から履修可能)と、外資系企業への就職やUSCPA受験の前提となる英文簿記を学ぶプログラム(「英文簿記Ⅰ」と「英文簿記Ⅱ」の2科目構成)で、現代企業のニーズに応じたスキルを習得します。

起業マインドを実践的に学ぶ！ / 産学協同アントレプレナーシップ教育プログラム

海外も視野に入れた起業の知識を修得、 産業界と連携して実践的に起業家を育成

産業界や官公庁と大学が連携し、起業家育成を目指すプログラムです。産業界との太いつながりを持つ本学の特色を最大限に活かし、多くの企業でのインターンシップや実践的に学ぶアクティブ・ラーニングを実施。国内外での実際の起業活動にもつながる充実した内容を用意しています。

産業界や官公庁と大学が連携し、起業家育成を目指すプログラムです。産業界との太いつながりを持つ本学の特色を最大限に活かし、多くの企業でのインターンシップや実践的に学ぶアクティブ・ラーニングを実施。国内外での実際の起業活動にもつながる充実した内容を用意しています。

産学協同のサポート体制と学びのステップ

企業との連携 本学が誇る産業界とのネットワークを活用	
講師の派遣 展開科目群において 企業から講師を派遣	教材開発 企業から提示された模擬課題や ケーススタディに取り組む
2回生以上	アントレプレナーシップ論/事業開発論/ベンチャー企業論
3回生以上	ベンチャーファイナンス

起業活動へのチャレンジ

- ・学生ベンチャーコンテスト
- ・産学協同アントレプレナーシップ教育プログラム成果報告会 など

さらに詳しい内容は、
BSAのホームページを
チェック！



BSA Business Studies Abroad

目的や学び方に応じて選べる 経営学部の留学プログラム



学生INTERVIEW
**BSAで
ニュージーランド・
ドイツへ留学**

国際経営学科
石橋 毅一 さん
滋賀県立
八日市高校出身

価値観の違う相手と積極的に議論して
自分の考えを作る力も伸びました。

大学生生活で留学を二度経験し、得たのは「主体性」と「思考力」。「BSA I」でニュージーランドのマッセイ大学へ留学した当初は、英語に自信がなく受け身になり、なかなか授業に参加できませんでした。しかし、他国の留学生が積極的に発言している姿に刺激を受け、失敗を恐れずに意見を伝えることを意識した生活の中で、「主体的に行動する力」が身につきました。その後「BSA IV」でドイツのブレーメン州立経済工科大学に留学し、授業内外で積極的にディスカッションに参加。欧米の学生に埋もれないように発言する中で、その質が重要であると実感しました。価値観や前提の異なる人々との議論を通じ、柔軟に考え、自分の意見を作る力が伸びました。どのような形であれ、異文化と触れることは人生を豊かにすると思うので、世界に目を向け、思考し、行動してみてください。



仲の良い友人たちとのケルン旅行は、素晴らしい思い出に



学生INTERVIEW
**BSAで
中国へ留学**

国際経営学科
興野 紗英 さん
京都府・
平安女学院高校

違う意見や考え方を取り入れつつ
自分の主張ができるようになりました。

中国語を現地で学んでみたくて「BSA I」で蘇州大学へ留学。中国での生活や食文化を体験できたので、次は自力で生活してみようと「BSA IV」で對外経済貿易大学へ留学しました。中国語の授業では、外国人留学生が失敗を恐れず中国語を話す姿を見習って、現地の人に話しかけ、学んだことを会話の中で使うようにしていました。英語で行われる経営の授業では、ディスカッションなどを通して考え方の違いを知り、人の意見を取り入れながらの主張もできるようになりました。生活の中でも多様な価値観を受け入れて一緒に生活していく術を学び、成長できたと感じています。就職後も仕事で海外に行けるように、中国語と英語の勉強を続けたいと思います。



登山好きの友人たちと、紅葉の美しい北京の香山公園にて

海外留学と学内での学びを有機的につなぐプログラム

グローバルな視点に立って世界を舞台に活躍するビジネス・リーダーの育成を目標に、海外留学の前後に外国語運用能力や経営学の専門知識を外国語で学ぶための講義を設けています。BSAと連動して学修効果を高めます。



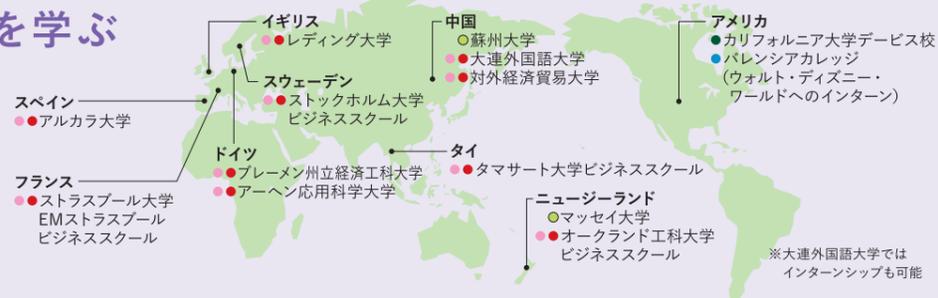
海外で経営学を学ぶ

〈学部独自のプログラム〉



国際社会に必要な
ビジネス感覚を
培います。

ビジネスに特化して海外で学ぶ留学プログラムです。外国語のレベルや目的に合わせて選べる4タイプのプランを設けています。短期、長期のプランを組み合わせることで複数回留学する学生もいます。



選べる4タイプ ※いずれのプログラムも4年間で卒業が可能です。

- BSA I** (期間:約1ヵ月間) 主に1回生の夏期休暇に実施。海外の大学で語学や基礎的な経営学を学びながら現地企業見学などを行います。
- BSA I plus・BSA II** (期間:約1ヵ月間または1 Semester) ビジネススクールや経営学部を有する海外の大学で、専門科目を多言語で理解できる能力を磨きます。ビジネスで使える高度なコミュニケーション能力や国際経営の専門知識の修得を目指します。
- BSA III** (期間:約6ヵ月間) 2回生以上が応募可能なアメリカ・フロリダ州のウォルト・ディズニー・ワールドへの長期インターンシップなどがあり、ビジネス感覚と経営学・語学力を培います。現地ではシェアハウスでの生活を通して、多様な学生との共同生活を経験することもできます。
- BSA IV** (期間:約1年～1.5年間) 2回生以降に実施。ビジネススクールや経営学部を有する海外の大学で、経営学に関する専門科目を多言語で受講し、仕事で使える高度なコミュニケーション能力や国際経営の専門知識の修得を目指します。

キャンパス内でも留学体験！

経営学部短期留学生パディ

セメスターごとに経営学部生からメンバーを募り、1学期間、海外の短期留学生のサポートをメインに活動しています。学生がそれぞれ担当の短期留学生の生活や学修のサポートをしながら自主的にイベントを開催し、ランゲージエクスチェンジなどの交流を通じ、キャンパス内でお互いの文化や言語を学び合っています。パディとなる学生は、留学経験者や予定者の中で英語を日常的に使いたい、海外に興味を持っている、多様な仲間を作りたいなど、モチベーションもさまざまです。パディの経験を通じ、国際理解を深めるだけではなく、イベントの企画・会議においてメンバーとともに企画力、組織力、行動力や協調性を培うこともできます。支え合いの精神が伝統としてつながっています。



OIC International House

2018年3月、立命館大学大阪いばらきキャンパス近くに国際寮「OIC International House (OICハウス)」が完成しました。初めて日本で暮らす留学生が、日本の生活、習慣に戸惑わないよう、各種サポート体制を整えています。また、留学生と国内学生が共同生活を通じて国際・多文化交流や多様な学び、地域交流を促進する国際教育の場として、さまざまな活動を行っています。寮生たちは、寮生活やこれらの活動を通じて、異文化理解力や傾聴力、外国語能力等を培っています。

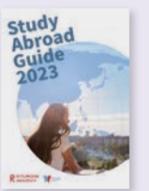
POINT

全室ルームシェア型6人1ユニットの個室、レジデントメンター(日本人学生スタッフ)在住、管理人日勤、オートロック、通学徒歩約18分(自転車約10分) さらに詳しくは▶



全学留学プログラム

全学部の学生が留学に挑戦できるプログラムです。世界68ヶ国・地域、463大学・機関と協定を結んでおり、多彩な留学期間・内容で、年間2,000名以上を海外に派遣しています。



さらに詳しくは▶

APUへ国内留学

立命館大学と立命館アジア太平洋大学(APU)は、双方の教育を活かし、両大学における教育の一層の充実を図ることを目的に、留学プログラムを実施しております。パスポートがいらぬ、立命館ならではの「交流学生プログラム」です。



さらに詳しくは▶



キャンパスライフがさらに充実！ バラエティ豊かな クラブ・サークル

OIC(大阪いばらきキャンパス)には100前後のクラブ・サークル、
他キャンパス拠点を含めると公認・登録団体だけでも、さらに400以上が存在します。
多くの学生が学部・学科の枠を越えて仲間との交流を深めています。
下記はOICで活動する団体の例です。

OICで活動する団体の例

スポーツ系 クラブ・サークル

- ホッケー部(男女)
- バドミントン部(男女)
- バレーボール部
- BLENDERS(ダンス)
- LEAP(バレーボール)
- コックローチ(フットサル)
- papillon(テニス)
- 競技ダンス部
- 応援団チアリーダー部
- 応援団吹奏楽部

音楽系サークル

- 交響楽団
- 混声合唱団メディックス
- メンネルコール(合唱)
- アコースティックギターサークル
- ロケット団(軽音)
- 京炎(創作ダンス)
- Empire Cast(アカペラ)

文科系サークル

- 将棋研究会
- 美術研究部
- 珠算部
- C4(服製作)
- Painting&Comics(漫画)
- 茶一くる(茶道)
- 京都チーム「櫻嵐洛」(よさこい)

学術・ボランティア系 サークル

- 立命館大学放送局
- phototo(写真)
- 英語研究会
- 会計学研究会
- 証券研究会
- 経営学研究会
- IVUSA京都(地域活性化、国際協力)
- IROHA(国際協力)

さらに詳しい内容は、
ホームページを
チェック！



仲間と一緒に、未来を創る。
Borderを超えていく。

さらに詳しい内容は、
ホームページをチェック！
SPORTS&CULTURE



体育会女子陸上ホッケー部



経営学科
久保 希永さん
福井県立
丹生高校出身

経営学科
今井 明日香さん
京都府・
立命館高校出身

一人ひとりが迅速かつ確かな判断力を備え、
学生日本一を目指します。

陸上ホッケーの魅力はスピードです。スティックで打ち抜くボールの速さは時速120kmにもおよび、0.1秒で試合展開が目まぐるしく変わります。試合ではスピーディな判断が求められるため、仲間との密なコミュニケーションを何よりも大切にしています。2017年には学生選手権大会での優勝を果たしました。現在は学生チャンピオンの座の奪還と社会人チームと戦う日本リーグ戦での優勝が目標です。大阪いばらきキャンパスには、国際大会に対応できるホッケーグラウンドがあり、充実した環境で練習に取り組むことができるのも魅力です。2018年には世界の強豪4ヵ国が集まる「女子ホッケー 4ヵ国いばらき国際大会」をサポートし、オーストラリアチームとの親善試合をするなど、他ではできない経験ができました。



日本一のチームを目指し、日々鍛錬中！



ゴールを決め喜びを分かち合う立命館ホリーズ

応援団吹奏楽部



国際経営学科
羽田 茜さん
京都府立
洛北高校出身

経営学科
奥村 理乃さん
愛知県・愛知工業大学
名電高校出身

経営学科
浅山 奈々子さん
京都府・
立命館高校出身

多様性を受け入れながらも心は一つに。
私たちらしいハーモニーを奏でます。

私たちの主な活動は、スポーツの試合や大学行事などにおける応援活動、私たちが主催する演奏会・コンサートの開催、他団体も出場するコンクールへの出場などがあります。部の理念に「活気・自発・思いやり」を掲げ、部員同士が切磋琢磨しながら活動に取り組んでいます。部員は約90名の大所帯ながら、定期的に意見交換の場を設けることで意識の共有を心がけています。一方で、部員の多様な価値観を尊重して、演奏技術を磨いてコンクールで結果を出したい人、自分たちの演奏で観客を楽しませたい人など、それぞれの思いにできる限り応えるように心がけています。大切なのは一つひとつの演奏機会における目標を明確にし、心一つにして各ステージの完成度を高めることだと考えています。



立岡戦での応援活動



サマーコンサートでのマーチングステージ

国際協力団体IROHA

カンボジアで継続的な教育支援を実施。
組織運営が学びにもつながっています。

私たちはカンボジアで教育支援をする団体で、先輩が2010年に設立した公立中学校「IROHAスクール」で継続的な支援を行っています。いくつかのグループに分かれて、現地での教育支援や日本での広報活動など、さまざまなプロジェクトを実施しており、春休みと夏休みの年2回、実際に学生が現地を訪問しています。また、私はIROHAの運営に携わるようになったことで、組織マネジメントやイノベーションなど経営学により深く関心を持って学べるようになりました。大学生生活を充実させたい人は、ぜひ私たちと一緒に活動を楽しみましょう！



カンボジアの生徒たちと一緒に授業を受けている様子。



国際経営学科 一瀬 優菜さん
京都府・立命館高校出身

茶一くる

茶道を通じて学ぶ和の心。初心者も気軽に楽しめます。

私たちは大阪いばらきキャンパス独自の茶道サークルで、日々のお稽古を通じて礼儀や作法を学ぶほか、学園祭や地域交流イベント「いばらき×立命館DAY」などにおいてお茶会を開催しています。メンバーには茶道の経験者もいますが、ほとんどが初心者で、気軽に茶道や日本文化に親しめるのが魅力です。毎月、裏千家の先生から指導を受けているので、真剣に茶道のお点前を磨きたいという人ももちろん大歓迎です。創設から4年目で、立ち上げメンバーが卒業を迎えるので、新たにサークルを盛り上げてくれる新入生の加入を心よりお待ちしております。



学園祭でのお茶会に向けた準備の様子。



経営学科
村山 結菜さん
福岡県立
筑紫丘高校出身

経営学科
白井 あかりさん
大阪府立
春日丘高校出身

経営学科
源 諒子さん
和歌山県・
初芝橋本高校出身

充実したキャリアサポートで 希望の進路・就職を実現

立命館大学は16学部・21研究科を擁する総合大学でありながら、学生一人ひとりの進路希望や活動状況を把握し、学生の希望に応じたきめ細かな就職支援を行っています。経営学部の卒業生は、民間企業、公務員、公認会計士など多様な分野で、また国内・海外で幅広く活躍しています。

さらに詳しい内容は、
ホームページを
チェック!



立命館大学の充実した キャリアサポート

立命館大学では、学生の多様な進路の実現を支援するために、学内で行う企業説明会や学内選考会などを実施。夢を叶え、社会の幅広い分野で活躍している卒業生たちによる在学生へのアドバイスやサポートも行っています。

学内企業説明会・オンキャンパス リクルーティング(学内選考会)

年間3,000社以上の多様な業界のトップ企業、有力企業の人事採用担当者を招き、キャンパスで企業説明会や学内選考会を実施しています。学内選考会では高いマッチング率を誇ります。

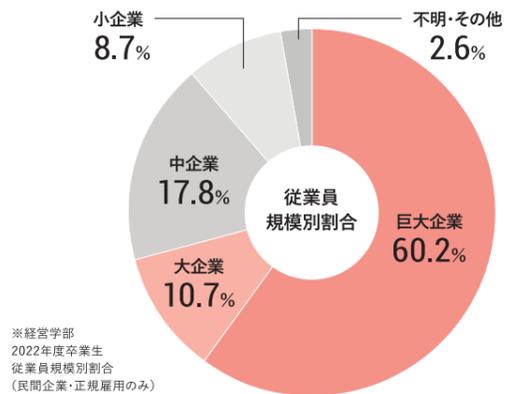
立命館大学キャリアフォーラム

立命館大学には全国から学生が集っています。Uターン・ターン就職を希望する学生に向けて立命館大学生のみを対象とした地域・業界研究会や合同企業説明会を全国9都市で開催。参加企業・団体は400社以上にのぼります。

スチューデント・ネットワーク

社会で活躍する卒業生のうち約3,500名がCA(キャリア・アドバイザー)として後輩の進路選択や就職活動をサポート。内定を獲得した4回生もJA(ジュニア・アドバイザー)として後輩を支援しています。

大企業への就職状況



※経営学部
2022年度卒業生
従業員規模別割合
(民間企業・正規雇用のみ)

経営学部の就職者のうち、約70%が「巨大企業」および「大企業」に就職しています。本学の経営学部の学生は、産業界から高い評価をいただいています。

従業員規模	人数
巨大企業	1000人以上
大企業	500～999人
中企業	100～499人
小企業	99人以下

卒業生INTERVIEW

ユニ・チャーム株式会社 ProCare営業本部

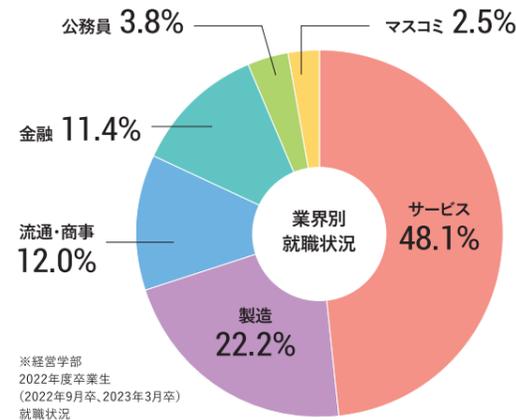
立命館大学
経営学部 経営学科
2017年3月卒業
宮口 佳奈 さん
京都府・立命館宇治高校出身



カンボジアで継続的な教育支援を実施。組織運営が学びにもつながっています。

病院や施設で使用する業務用オムツを専門に、排泄ケアの提案を行っています。さまざまな悩みを抱える方に新しい情報を提供したり、オムツ交換の現場に実際に立ち会って最適な方をお伝えしたり、お客様とともに解決方法を考えることが私たちの役目です。速やかに答えを見つけるには、チームの先輩方からアドバイスをもらうことや助け合いが欠かせません。まず「自分にできないことを素直に認める」ことが大切。これは、大学の短期語学研修プログラム(2週間)と交換留学プログラム(1年間)で韓国への留学を経験し学んだことです。今後は、現場を経験した私だからできる商品やシステムづくりに携わりたいと思っています。年齢や性別にかかわらず、誰もがやりたいことを諦めずにチャレンジできる社会づくりを支えています。

業界別就職状況



※経営学部
2022年度卒業生
(2022年9月卒、2023年3月卒)
就職状況

経営学部で学んだ学生は、経営・組織管理、人事・労務管理、営業販売、商品開発、市場調査、広告・広報、生産管理・技術営業、経理・財務管理、国際部門、会計士・税理士などさまざまな職種で活躍しています。

卒業生INTERVIEW

株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ 第4アカウント・マネジメントセンター(営業部)

立命館大学
経営学部 経営学科 2016年3月卒業
杉本 翔汰 さん
滋賀県立甲西高校出身



マーケティングやデザインの実践的な学びが入社後の大きなリードに。

総合広告代理店の営業として、企業のマーケティングやコミュニケーション活動のお手伝いをしています。「業種に関わらず入社1年目からマーケティングに関わりたい」という思いから、在学中は広告・デザインのゼミに所属していました。マーケティングだけでなく、デザイン(広告表現などにおいて設計という意味)の学びを両立することができたのは、立命館大学の経営学部だからこそだと思います。情報社会において商品を守るためには、マーケッターとしてだけでなく、コミュニケーションデザイナーとしての視点も重要なので、仕事に役立っています。立命館大学経営学部には、他にはない充実した環境が整っています。みなさんも「大学のリソースをどんどん活用してやるぞ!」という貪欲な気持ちでたくさんのごことを吸収してください。

公認会計士合格実績

2022年度
公認会計士試験
合格者
(校友含む)

54名

全国 5位
西日本私大 1位

立命館大学では、毎年安定的に合格者を輩出しており、とりわけ在学生の健闘が目立っています。学内の支援としては、キャリア形成の一助となる現役の公認会計士の講演会や監査法人訪問会を実施し、学習支援では、公認会計士の学習スタートとなる講座を学内で開講しています。自習室や各種奨学金制度も準備しており、しっかりと試験対策に取り組める環境を準備しています。

卒業生INTERVIEW

有限責任 あずさ監査法人 大阪事務所 第2事業部

立命館大学
経営学部 国際経営学科
2015年3月卒業
山本 悠貴 さん
京都府・立命館高校出身



経済活動を支える市場の番人として
今後はグローバルなステージへ。

1回生の時の授業で簿記と出会い、その面白さに目覚めました。勉強を進めていくうちに関心は会社の財務状況へと広がり、市場の番人である公認会計士の仕事に惹かれました。現在は監査法人に勤務し、クライアント各社の財務・会計内容のチェックや、会計処理などの相談事項の検討を行っています。経験豊かな目上の方を相手に報告や発表を行う機会も少なくありませんが、聴することなく向き合うことができるのは、東京で開催された論文大会へ出場するなど、学生時代の経験があるから。ゼミナールの仲間と重ねたプレゼンテーションやディベートの練習が今に活かしています。身につけた学びの姿勢は変えることなく、将来はグローバルな企業の担当もできるよう、語学の勉強を続けています。

2022年度卒業生就職先(抜粋)

- アイリスオーヤマ(株)
- アクセンチュア(株)
- 有限責任あずさ監査法人
- EY新日本有限責任監査法人
- (株)イシダ
- 岩谷産業(株)
- エン・ジャパン(株)
- 関西電力(株)
- (株)キーエンス
- 京セラ(株)
- (株)京都銀行
- (株)JT B
- 積水ハウス(株)
- 大和ハウス工業(株)
- 東京海上日動火災保険(株)
- 有限責任監査法人トーマツ
- (株)日本政策金融公庫
- 日本郵便(株)
- (株)ニトリ
- (株)日本M&Aセンター
- 任天堂(株)
- (株)博報堂
- パナソニック(株)
- (株)阪急阪神百貨店
- (株)日立製作所
- (株)ファーストリテイリング
- 富士通(株)
- (株)三井住友銀行
- (株)村田製作所
- ヤフー(株)
- 楽天グループ(株)
- (株)リクルート
- (株)りそな銀行
- 国家公務員一般職(厚生労働省)
- 国家公務員一般職(法務省)
- 地方公務員(上級職)

(50音順)

卒業生INTERVIEW

株式会社野村総合研究所 システムコンサルティング 事業本部

立命館大学
経営学部 国際経営学科 2018年3月卒業
井関 夏帆 さん
大阪府立大手前高校出身



多様な学びと仲間との出会いから
将来の可能性が広がる最高の環境です。

システムコンサルタントとして、主に物流業界のお客様を対象に、IT組織体制の見直しやITを活用した業務改革の計画・実行支援を行っています。大学ではゼミ活動に最も力を注ぎ、「ビジネスモデルが企業に与える競争優位性」について事例研究を行いました。研究以外にも、ゼミの担当教員を通じ企業訪問やゲストスピーカーの講義を受講する中で、現在の業務内容に近い「自分が将来なりたい姿」が具現化されていきました。立命館大学には、講義やゼミ活動以外にも、さまざまなプログラムや就職活動支援の体制が整っています。めまぐるしく変わるこの時代に、自分がやりたいことを見つける機会や選択肢がたくさん提供され、多様な人が集まるこの環境はとても素晴らしいと思います。みなさんもぜひ、未来への一歩を踏み出してください。